

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊中市・シャーマン山田邸	階数	地上4F
建設地	豊中市上新田四丁目1987番1、1989番1	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法第22条第2号	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年5月18日
敷地面積	2,320㎡	作成者	廣田 浩二郎
建築面積	955㎡	確認日	2018年5月19日
延床面積	3,204㎡	確認者	廣田 浩二郎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

②建築物の取組み 74% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

③上記+②以外の 74% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

④上記+ 74% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	●設備システムの高効率化を図り、エネルギー使用量を削減。	その他 特に無し
Q1 室内環境	●各住戸については、省エネ基準を満たす断熱仕様、高断熱ペアガラスの採用による冷暖房負荷の軽減を図った。	Q3 室外環境(敷地内) ●共用玄関にオートロックを採用し、防犯性を高めた。
Q2 サービス性能	●仕上材や設備配管に対応年数の長いものを採用し、建築物の長寿命化に配慮。	LR3 敷地外環境 ●光害抑制の為、照明計画に配慮。
LR1 エネルギー	●潜熱回収型給湯器による省エネルギー対策を行った。	
LR2 資源・マテリアル	●躯体と仕上げ材が容易に分別できるよう配慮。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0038

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)豊中市・シャーマゾン山田邸 新築工事					
	建設地	豊中市上新田四丁目1987番1、1989番1、1989番4					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

対象外

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		